

# 草津市立クリーンセンター更新整備工事

## 落札候補者選定基準書

平成26年7月

草 津 市



この「草津市立クリーンセンター更新整備工事 落札候補者選定基準書」（以下、「落札候補者選定基準書」という。）は、本工事を実施する落札候補者選定のための総合評価一般競争入札に適用されるものであり、本工事に係る入札の公告に基づく落札候補者の選定等については、関係法令に定めるもののほか、募集要項によるものとする。

本工事に係る入札への参加を希望するものは、募集要項に記載された工事業者の役割を十分理解した上で、募集要項に沿って、本工事の目的に合った条件で、入札参加にかかる資料の作成等を行うものとする。

本市では、以下に示す基本方針を基に施設整備を進めることとする。

・**安全で安定した施設**

施設での処理が安全に行われ、市民および施設職員が安心できる施設を整備し、維持管理が容易で耐久性に優れた設備を導入し安定した施設を目指す。

・**経済性・効率性を考慮した施設**

建設費および維持管理費などの運営費を含めたごみ処理コストの低減化や、効率的な資源化、およびエネルギーの有効利用を図る施設を目指す。

・**環境に配慮した施設**

環境汚染物質の発生を抑制し、環境負荷の低減を図り、余熱エネルギーの有効利用により循環型社会へ貢献できる施設を目指す。

この落札候補者選定基準書は、総合評価一般競争入札による落札候補者の選定にあたり、入札参加者から提出される技術提案書類を客観的に評価するための審査項目及び方法等を示すとともに、上記基本方針の達成のため、本市が入札参加者の技術提案に期待している具体的な内容を示すものであり、「草津市立クリーンセンター更新整備工事 入札説明書」（以下、「入札説明書」という。）と一体のものである。

< 草津市立クリーンセンター更新整備工事 落札候補者選定基準書 目次 >

I. 落札者決定の手順.....	1
II. 入札参加資格の審査.....	2
1. 入札参加資格の審査.....	2
2. 入札参加資格の喪失.....	2
III. 入札参加者の審査及び落札候補者の選定.....	2
1. 事前審査.....	2
2. 非価格要素審査.....	2
3. 開札.....	3
4. 総合評価.....	3
IV. 落札者の決定及び公表.....	4
V. その他失格要件.....	4
VI. 入札の中止、延期など.....	4
別紙1 総合評価の審査について.....	5
1. 総合評価の審査項目と配点.....	5
2. 非価格要素審査における点数化方法.....	6
3. 価格審査における点数化方法.....	6
4. 総合評価点の算定方法.....	7
別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点.....	8

# I. 落札者決定の手順

落札者を決定するため、図1に示す手順で総合評価一般競争入札を実施する。

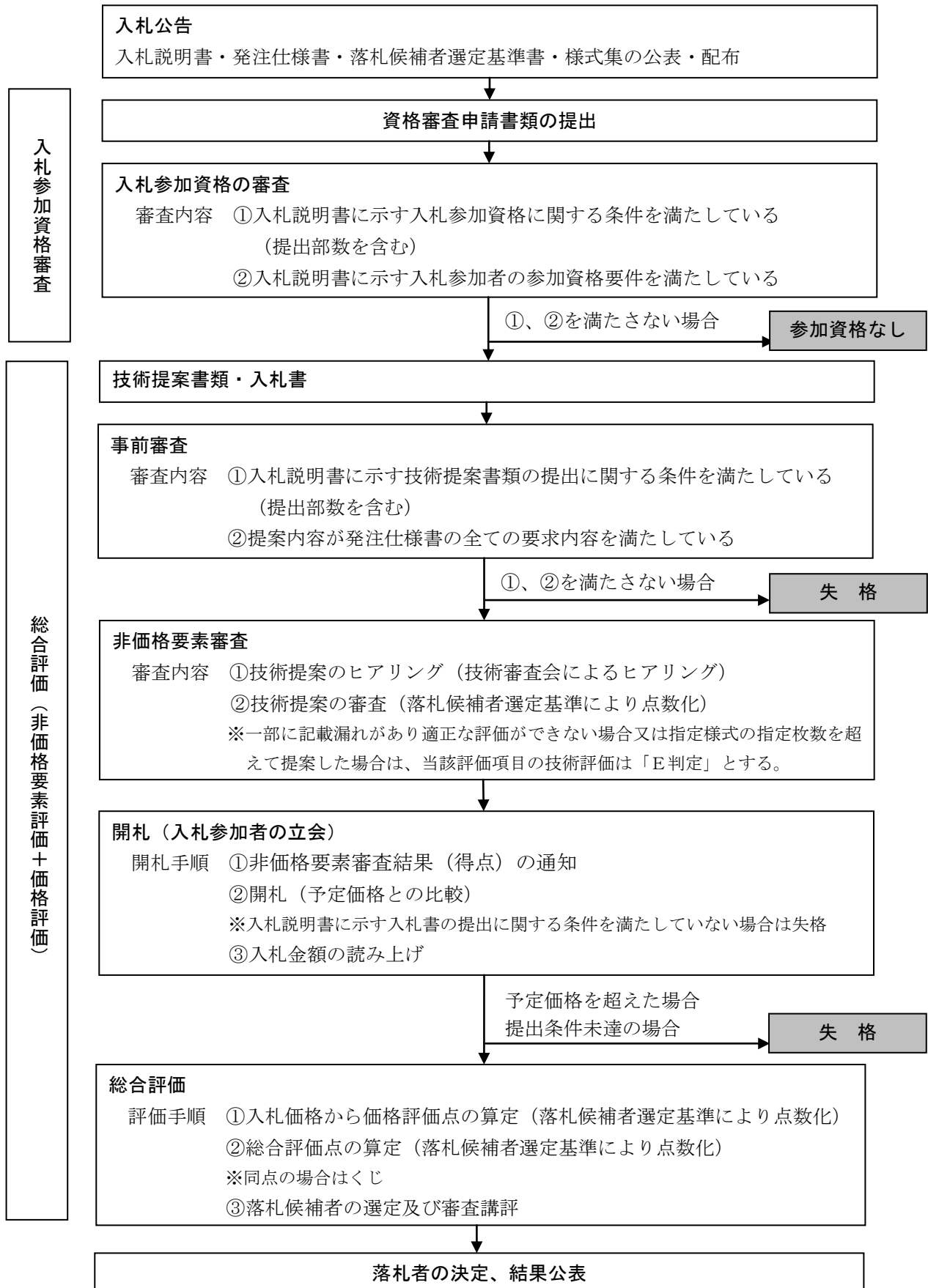


図1 落札者決定の手順

## Ⅱ. 入札参加資格の審査

### 1. 入札参加資格の審査

本市は、入札参加者より提出された資格審査申請書類が、以下の①～②の条件を満たす入札参加者について参加資格を有するものとする。

なお、入札に参加できる入札参加者は、入札参加資格要件を満たすことが確認された入札参加者のみとし、入札参加資格要件を満たすことが確認されなかった入札参加者は参加することができない。

- ① 入札参加者が「入札説明書 Ⅲ. 3. (1) 資格審査申請書類の提出」に示した提出書類を期限内に決められた方法で提出していること（各様式の記載要領にしたがうこと。なお、押印の不備の場合は参加資格がないものとする）。
- ② 入札参加者が「入札説明書 Ⅲ. 4. 入札参加資格要件」に示した要件を満たすこと。

### 2. 入札参加資格の喪失

入札参加資格の審査を合格した入札参加者が、資格審査申請書類の受付期間の最終日から落札者の決定の日までの間に、入札参加資格要件を喪失したときは、入札参加資格を取り消し、本市より書面にて通知する。

なお、落札候補者となった者が建設工事請負契約の締結までの間に、入札参加資格要件を喪失したときは、本市の判断により契約締結しないことがある。

## Ⅲ. 入札参加者の審査及び落札候補者の選定

### 1. 事前審査

本市は、入札参加者より提出された技術提案書類を確認し、以下の①～②の条件を満たさない入札参加者を失格とする。

- ① 入札参加者が「入札説明書 Ⅲ. 5. (1) 技術提案書類・入札書の提出」に示した提出書類を期限内に決められた方法で提出していること（各様式の作成要領にしたがうこと。なお、押印の不備の場合は、失格とする）。
- ② 提案内容が発注仕様書の全ての要求内容を満たしていること（性能に関する誓約書の確認を含む）。

### 2. 非価格要素審査

非価格要素審査の審査は、「草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会」（以下、「技術審査会」という。）で行う。

#### (1) 技術提案に関するヒアリングの実施

技術審査会は、技術提案書類を提出した入札参加者を対象に技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングを以下のとおり実施する。

- ① ヒアリングは、平成26年12月頃を予定しているが、実施日時、実施場所、実施方法など詳細については、別途通知する。
- ② 実施内容は、入札参加者の技術提案に関するプレゼンテーション及び質疑回答とする。

## (2) 非価格要素審査

技術審査会は、技術提案に関するヒアリングを実施した後、「別紙1 2. 非価格要素審査における点数化方法」に基づき、技術提案書類に記載された内容について、「別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点」により評価を行い、非価格要素の評価の点数（以下、「非価格要素評価点」という。）を決定する。

## 3. 開札

開札は、入札参加者又はその代理人が立ち会いのうで実施する。なお、入札参加者又はその代理人が立ち会わない場合は、当該入札事務に関与しない本市職員を立ち会わせる。

### (1) 開札の流れ

開札の流れは以下のとおりとする。

- ① 非価格要素評価点の読み上げ
- ② 入札書の開封
- ③ 失格の有無の確認及び報告
- ④ 入札金額の読み上げ

### (2) 予定価格との比較

本市は、入札書の開封時において、入札参加者が提出した入札書の入札金額が予定価格を超えていないか確認し、予定価格を超えた入札書は無効とし、入札参加者を失格とする。

### (3) その他の失格要件

本市は、入札参加者より提出された入札書を確認し、以下の①～③のいずれかに該当するときは、入札書は無効とし、入札参加者を失格とする。

- ① 草津市契約規則（平成6年草津市規則第10号）第14条の規定に該当する入札
- ② 入札に必要な資格に虚偽の申請を行った者の入札
- ③ 草津市入札心得に示す条件に違反した入札

## 4. 総合評価

### (1) 価格評価点の算定

本市は、「別紙1 3. 価格審査における点数化方法」に基づき、予定価格以下の入札書に対して価格評価の点数（以下、「価格評価点」という。）を算定する。

### (2) 総合評価点の算定

本市は、予め技術審査会が決定した非価格要素評価点と算定した価格評価点から「別紙1 4. 総合評価点の算定方法」に基づき、入札参加者の総合評価点を算定する。

### (3) 落札候補者の選定

本市は、総合評価点の算定結果を技術審査会に報告する。

技術審査会は、総合評価点を確認し、落札候補者を選定する。

なお、落札候補者の選定にあたって、入札参加者の評価点数が同点となった場合、抽選により落札候補者を決定する。抽選の方法は、くじとする。この場合、当該入札参加者又はその代理人がくじを引かない場合は、入札事務に関係のない本市職員にくじを引かせて落札候補者を決定する。

#### IV. 落札者の決定及び公表

前項の開札結果に基づき、技術審査会の審査、講評を経て、本市は、本工事を実施するに相応しいと判断した場合、落札者として決定する。

本市は、落札者の決定後、落札者及び審査結果を取りまとめて公表する。

なお、提案内容の評価結果に対する問合せは受け付けない。

#### V. その他失格要件

以下の各号のいずれかに該当する場合は、失格とする。

- ① 資格審査申請書類、技術提案書類等の入札参加者が本市に提出した書類に虚偽の記載がある場合
- ② 著しく信義に反する行為をした場合
- ③ 関係者（技術審査会の委員を含む）に対する工作など不当な活動を行ったと認められる場合
- ④ その他、落札者となることに相応しくないと判断した場合

#### VI. 入札の中止、延期など

公正な入札が確保できない、または、できなかつたと思慮される場合は、入札を中止または落札決定による予約を解除することがある。その場合、入札参加者は損害賠償等を請求できない。



## 別紙1 総合評価の審査について

### 1. 総合評価の審査項目と配点

総合評価の審査は、非価格要素審査と価格審査を行う。非価格要素審査と価格審査の配点は以下のとおりとする。

総合評価の審査項目は、本市及び技術審査会が入札参加者の提案に期待している事項である。なお、審査基準等の詳細は、「別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点」を参照のこと。

項目	大項目	中項目	小項目	配点	
非価格要素審査	安全で安定した施設 (12点)	安全・安定処理できるプラント設計 (2点)	焼却性能、建築物構造計画、安全性等への取り組み	2点	
		安全な施設配置・車両動線計画 (6点)	敷地内の車両動線、市民の車両動線（混載時の車両動線）	2点	
			施設内の車両動線、メンテナンス車両の動線	2点	
			既存プラスチック、ペットボトル施設の将来配置計画と車両動線計画	2点	
		安定稼働（運転）の実現（4点）	ごみ量、ごみ質の変動への対応	2点	
	トラブル・事故発生防止対策、トラブル、事故発生時の対応、災害時の運転（ごみ処理）		2点		
	小計				12点
	環境に配慮した施設 (12点)	環境保全性能（2点）	公害防止基準及び遵守方策	2点	
		循環型社会の構築に貢献する施設 (4点)	自然エネルギー導入計画	2点	
			省エネルギー設備導入計画	2点	
		環境を大切にしているところを育む施設 (4点)	周辺の森林等と調和をした景観デザイン、森をイメージした緑化、植栽計画	2点	
			敷地や施設を活用した学習機能の整備	2点	
	身近に感じられる施設（2点）	見学者コース、市民活動スペースとその活用法、啓発施設の設置と更新	2点		
	小計				12点
	経済性・効率性を考慮した施設 (20点)	エネルギーの有効利用（4点）	年間発電計画および売電計画	2点	
			契約電力低減の工夫	2点	
		長寿命化の実現・効率的な施設運営 (16点)	維持管理費低減の工夫	4点	
			定期補修費低減の工夫	4点	
			運転人員削減の工夫	2点	
			過熱器の耐用年数とその実現対策	2点	
			大規模補修時の補修計画 (大規模補修時期、大型重機設置場所等)	2点	
			建築機械設備の補修計画	2点	
	小計				20点
	地域貢献（地元企業の活用、地元住民への配慮）				(2点) 2点
	社会貢献（男女共同参画の推進、環境保全活動）				(2点) 2点
	その他有効な提案				(2点) 2点
	非価格要素評価点				50点
価格審査	価格評価点			50点	
総合評価点（非価格要素評価点と価格評価点の合計）				100点	

## 2. 非価格要素審査における点数化方法

入札参加者の提案内容が、技術的観点から発注仕様書に提示する性能等を満足することが見込める内容であることを前提として、次のとおり点数化をする。

- (1) 非価格要素評価点は、技術提案の審査項目ごとに、次に示す5段階により評価する。
- (2) 技術提案書の審査は、技術審査会で評価し、非価格要素評価点として点数化する。
- (3) 技術提案書の一部に記載漏れがあり適正な評価ができない場合や指定様式の指定枚数を超えて提案した場合は、当該評価項目の技術評価は「E判定」となるので注意すること。

評価	説明	点数
A	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、極めて高く評価できる	配点×1.0
B	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、高く評価できる。	配点×0.75
C	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、評価できる。	配点×0.5
D	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、やや評価できる。	配点×0.25
E	発注仕様書を満たしているレベルである。	配点×0

※「D判定」「E判定」評価となった項目については、技術審査会から、要望・指摘事項等を確実に履行することを落札候補者に求めることがある。

### 3. 価格審査における点数化方法

価格評価点は、入札金額（消費税及び地方消費税相当額は含まない。）に基づき、次の式により点数を算定する。なお、算定式で求める点数は四捨五入しない。

価格評価点の算定にあたっては、基準額を設ける。基準額を下回る価格での入札を行なっても失格とはならない。基準額は予定価格×70%とする。

<b>【価格評価点の算定式】</b>
①最低入札価格＞基準額の場合 価格評価点＝配点（50点）×最低入札価格／入札金額
②最低入札価格≤基準額の場合 価格評価点＝配点（50点）×基準額／入札金額

※基準額以下の価格で入札を行なった場合は、当該入札参加者の価格評価点は満点の50点とする。この場合は、その他の入札参加者（基準額を上回る価格で入札を行なった者）の価格評価点の算定は、上記②の算定式で行なう。

### 4. 総合評価点の算定方法

「2. 非価格要素審査における点数化方法」で得られた非価格要素評価点と「3. 価格審査における点数化方法」で得られた価格評価点を用いて、次に示す算定式により、各入札参加者の総合評価点を算定する。

<b>【総合評価点の算定式】</b>
総合評価点 = 非価格要素評価点 + 価格評価点

別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点

技術審査会では、以下の各項目について審査を行う。

項目	大項目	中項目	小項目	記述内容	評価の視点
非価格要素審査	安全で安定した施設	安全・安定処理できるプラント設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却性能</li> <li>・建築物構造計画</li> <li>・安全性等への取り組み</li> </ul>	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却性能は、安定した燃焼を達成するための方法を提案する。</li> <li>・建築物構造計画は、耐震設計に関する考え方を記載し、提案する。</li> <li>・安全性等への取り組みは、トラブル、事故（他都市事例）等を踏まえた技術革新について提案する。</li> </ul>	具体性 実施効果（期待度）
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内の車両動線</li> <li>・市民の車両動線（混載時の車両動線）</li> </ul>	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所のないスムーズな敷地内における車両動線</li> <li>・市民が本施設に直接ごみを持ち込む場合の車両動線分離の考え方、安全対策 等</li> </ul> ※ごみを混載して持ち込んだ場合についても考慮	安全性 利便性 妥当性
		安全な施設配置 ・車両動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の車両動線</li> <li>・メンテナンス車両の動線</li> </ul>	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルさ、わかりやすさ</li> <li>・車両輻輳箇所の有無、メンテナンス車両の軌跡</li> <li>・作業中の退避場所（周回車両を含む）</li> <li>・安全対策</li> <li>・作業効率（施設内のマシンハッチ等との位置関係） 等</li> </ul>	安全性 利便性 妥当性
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存プラスチック、ペットボトル施設の将来配置計画と車両動線計画</li> </ul>	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルさ、わかりやすさ</li> <li>・車両輻輳箇所の有無</li> <li>・安全対策 等</li> </ul>	安全性 利便性 妥当性
		安定稼働（運転）の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ量、ごみ質への変動への対応</li> <li>・トラブル、事故発生防止対策</li> <li>・トラブル、事故発生時の対応</li> <li>・災害時の運転（ごみ処理）</li> </ul>	本項目については、性能曲線、年間の操炉スケジュール等を提案する。	実現性 実施効果（期待度）
				本項目については、フェールセーフ設計（事前発生防止、発生時の被害拡大防止計画等）、具体的な事例をもとにしたトラブル、事故への対処方法、災害時の運転（ごみ処理）等を提案する。                     ※薬剤等の貯留日数との整合を図ること。	具体性 妥当性 実施効果（期待度）
	本項目については、公害防止基準値遵守の考え方、その遵守方策等について提案する。			実現性 妥当性	
	環境に配慮した施設	循環型社会の構築に貢献する施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止基準及び遵守方策</li> </ul>	本項目については、太陽光発電等、自然エネルギーの有効利用を図った設備・機器の導入計画を提案する。                     ※啓発効果の高い設備・機器を想定	実施効果（期待度）
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー設備導入計画</li> </ul>	本項目については、場内使用電力の低減方法、低温排熱の利用方法等を提案する。	具体性 実施効果（期待度）
		環境を大切にすることを育む施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の森林等と調和をした景観デザイン</li> <li>・森をイメージした緑化、植栽計画</li> </ul>	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージ図</li> <li>・緑化対策、緩衝帯、建屋高さ</li> <li>・工夫点 等</li> </ul>	バランス性 妥当性 実施効果（期待度）
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地や施設を活用した学習機能の整備</li> </ul>	本項目については、啓発効果の高さや工夫点等を提案する。	具体性 実施効果（期待度）
		身近に感じられる施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者コース、市民活動スペースとその活用法、啓発設備の設置と更新</li> </ul>	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学動線図、イメージ図等で見学目的、啓発効果、工夫点等を提案する。</li> <li>・再来場を促す仕組み、教育プログラム</li> <li>・対応可能な市民活動の種類（柔軟な運用が可能か）</li> <li>・設置機器の啓発効果（狙い）</li> <li>・機器更新、ソフト更新計画 等</li> </ul>	利便性 具体性 実施効果（期待度）
				本項目については、下記の視点を考慮して提案する。	

項目	大項目	中項目	小項目	記述内容	評価の視点
非価格 要素 審査	経済性・効率性 を考慮した施設	エネルギーの有効利用	・年間発電計画および売電計画	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・エネルギーの有効利用及びLCC低減の観点からの発電機選定の考え方 ・年間売電量と操炉計画及び発電効率 ・関連設備のLCC（イニシャルコスト、メンテナンスコスト等） ・安定して売電を行うための工夫 等	定量比較 実現性 実施効果（期待度）
			・契約電力低減の工夫	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・LCC低減の観点から、契約電力料金を低減するための工夫点等を提案する。	定量比較 妥当性 実施効果（期待度）
		長寿命化の実現・効 率的な施設運営	・維持管理費低減の工夫	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・発注仕様書の内容を満足するために必要な維持管理費と、提案により削減できる維持管理費 ・工夫点、根拠等 ※薬剤等は本市にて調達することになるため、一般の市販品は、本市にて統一単価とする場合がある。	定量比較 妥当性 実現効果（期待度）
			・定期補修費低減の工夫	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・発注仕様書の内容を満足するために必要な定期補修費と、提案により削減できる定期補修費 ・工夫点、根拠等 ※加熱器にかかる補修費は含めないこと。	定量比較 妥当性 実現効果（期待度）
			・運転人員削減の工夫	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・発注仕様書の内容を満足するために必要な運転人員（熱回収施設、リサイクル施設）と、提案により削減できる運転人員、 ・工夫点、根拠等	定量比較 妥当性 実現効果（期待度）
			・過熱器の耐用年数とその実現対策	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・耐用年数 ・過熱器のLCC（イニシャルコスト、メンテナンスコスト等） ・その実現を裏付ける具体的な対策	定量比較 妥当性 実施効果（期待度）
			・大規模補修時の補修計画 （大規模補修時期、大型重機設置等）	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・大規模補修時の大型重機設置場所、周回車両への影響の有無 ※蒸気復水器等、大型機器を更新する場合を想定	具体性 妥当性
			・建築機械設備の補修計画	本項目については、下記の視点を考慮して提案する。 ・建築機械設備（配管、配線）設置の基本的な考え方 ・建築機械設備（配管、配線）等の交換方法	具体性 実施効果（期待度）
			地域貢献（地元企業の活用、地元住民への配慮）	草津市内に事業所（本社・本店）を有する企業の活用や、地元住民への配慮等を提案する。	具体性 実現性
		社会貢献（男女共同参画の推進、環境保全活動）	事業者としての、男女共同参画の推進、環境保全活動の取組みについて記載をする。	—	
		その他有効な提案		具体性 実現性 実施効果（期待度）	

注) 他都市施設での実績等を使用する場合には、できるだけ多くのデータを提示し、データの信頼性の向上に努めること。